

公表	事業所における自己評価総括表		
----	----------------	--	--

○事業所名	むく		
○保護者評価実施期間	2025年12月8日 ~ 2026年1月9日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2026年 1月 7日 ~ 2026年 1月 16日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	どんなに重たい障害があっても通ってくることができる 本人や家族のお困り感に対して、制度に則りながらできるこ とを見つけ、必要な時に必要な支援が提供できるよう協働し ている 安心安全に受入れをするため、多職種同士の連係、同法人の 事業所間での連携ができている 医療との連携がとりやすい環境にある	主に重症心身障害児や医療的ケアのある方の受入れは積極的 に行い、本人もご家族も安心して通える居場所を提供してい る 専門職（保育士・看護師・訓練士）で協働している 安心安全に受入れをするため、必要な人員を事業所を超えて 配置できるよう努力している 緊急時には医療とも連携を図り、速やかに対応できるよう情 報共有をしている	むくなら利用しても安心と思っていただけるよう、提供する サービスに自信を持って受入れをしていく 安心安全のために、常に情報共有に努める 医療と連携しているが、事業所内で迅速なケアができるよ う、実地研修や備えをしていきたい
2	児童発達支援から生活介護まで一貫したサービス提供がで きる環境にある	事業所移行がスムーズに行え、情報提供も確実に行えている	移行後の支援についても、継続的にフォローワー体制ができるよ う努めたい
3	地域の方にも気にかけてもらえる環境にある	月1回のマルシェを開催している（主に生活介護）	継続的に開催する

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	体調面や医療的ケアの面で、安定的な利用に繋がらない日が あるが、当日ご家庭への訪問等の対応が難しい。 非正規職員を配置している関係で、緊急時の受入れ対応がで きない場合がある（学校休業日と放課後で職員配置をする必 要がある時は特に人員配置が困難）	訪問をすることで、本人やご家族の負担も大きくなるのでは と懸念している 非正規職員で配置をしているため、配置基準を満たすための 職員配置及び勤務時間数の変更等が課題	ご家族の意向を聞き取りながら、必要な時に必要なサービス が提供できるよう、法人全体で考えていきたい
2	児童クラブや地域の子どもたちとの交流が困難	体調面や非言語コミュニケーションなど、地域の子どもたち との交流の機会を設定するのが困難	法人が開催する行事やマルシェなどを活用し、お互い参加型 の交流を目指したい
3	法人一体的に送迎を行っているため、個別対応が難しい 車いすやバギーの乗車になるため、車両に乗れる台数も決 まっておりコースの見直し等も困難	ワンボックスカー等で車いすが乗車できる車両を増やすこと で、職員でも送迎にでられる環境を用意したいが、車両の維 持費の問題、送迎に出ていく職員と残って支援する職員の確 保が課題 医療的ケアが必用なメンバーには看護師の添乗が必須で、人 員不足	補助金の申請を行い、車両が確保できるようにしたい 継続的に職員募集をしたい